

## 「わたしたちのくらしと公共交通」

|              |  |
|--------------|--|
| 指導目標         | <p>◎身近な公共交通機関であるバスの歴史や現状について、興味をもち、自己課題を設定することができる。</p> <p>◎聞き取り調査などの活動を通して、自己課題の解決に必要な情報を収集することができる。</p> <p>◎バスの良さ、公共交通の良さや今後のあり方について考えを深めることができる。</p> <p>◎バスの良さや今後のあり方について、家族への提案にまとめ、発信することができる。</p>  |
| 公共交通を教材とする利点 | <p>バスの乗車人数が減少し、赤字路線が多くなる中でも、市が補助金を出してバスを残す意味を考えることを通じて、自分たちにとっての公共交通のあり方や、自分たちの行動が地域の未来につながっていることについて考えることができる。</p>  |
| 対象学年         | 4年生 ※3年生社会でも可  |
| 対応教科         | 総合的な学習の時間  |
| 標準校時         | 10コマ   |
| 学習構成         | <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>1. 公共交通の歴史や「お出かけ」について考えよう</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの普段のお出かけについて移動手段や目的を考える。</li> <li>・公共交通の歴史を調べ、移動手段が増えて暮らしが便利になったことを知る。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>2. 家族の「お出かけ」調べ</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族への聞き取り調査を行い、普段の生活での移動手段について調べる。</li> <li>・クルマでの移動が多いことや公共交通が使われていないことに気付く。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>3. バスは必要？</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを使わず自動車を利用する実態を踏まえ、バスの必要性を考える。</li> <li>・自家用車を持っていても怪我などで運転できないこともあるため、どんな家庭でもバスが必要なことを知る。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>4. バス路線を残す意味って？</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの利用者が少ないのに、赤字路線が多くなる中でも市が補助金を出して路線を残そうとする意味を考えることでバスの大切さに気付く。</li> <li>・未来にバスを残せるかどうかは自分たちの行動次第であることを知る。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>5. お家の人に「提案」しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お出かけ」調べの結果や公共交通の現状を伝え、未来の公共交通を守るために自分たちにできることを考えて、家の人に提案する。</li> </ul> </div> |

札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

## ■ 実施例

実施校 札幌市立本通小学校

実施日 2013年11月20日（水） 6校時

科目 / 総合的な学習の時間

単元名 「わたしたちのくらしと公共交通」 [10時間扱い 本時6/8]

指導者 河嶋 一貴

## [指導計画]

### 1.教材にかかわって

#### ①学習指導要領の位置づけ

[小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編]

#### ●第4章指導計画の作成と内容の取扱い 指導計画の作成に当たっての配慮事項（5）

学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。

総合的な学習の時間では、目標実現のためにふさわしいと各学校が判断した学習課題を定める必要がある。本教材は、身近な公共交通に焦点化し、交通の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を取り上げる。教科の枠組みをこえた横断的・総合的な課題に迫る「交通環境学習」を通じて、広く環境意識や公共の精神を醸成することを目指す。

#### ②モビリティ・マネジメント教育の視点から

本校の校区には、数多くのバス路線とJR白石駅がある。徒歩圏内に地下鉄南郷7丁目駅があり、公共交通に恵まれた地域といえる。

一方で、家族が公共交通をどのくらい利用しているかを調べた事前調査で、「あまり利用しない」「ほとんど利用しない」とする子どもが学級の半数近くいることが明らかになった。さらに、主な移動手段として自家用車をあげた子どもが学級の8割以上いた。

保護者対象のアンケートではなく、児童本人にたずねたこと、利用目的など詳細についてたずねていないとはいえ、この結果は、「過度なクルマ利用によるバスや鉄道の廃止」などの公共交通が抱える問題と少なからず関連していると考えられる。

そこで、本実践を通して、公共交通の良さに目を向け公共交通を選択できる子どもを育成することを目指す。また、自分の行動が未来につながるという時間軸を意識させる。そのために、次のような手立てを取る。

- ・ 日常の移動手段、交通行動について振り返る「交通日記」を書く。
- ・ 「公共交通」を身近な問題としてとらえられるように、具体的なバス路線を取り上げる。公共交通の役割に目を向けられるよう、税金で維持されているような路線を取り上げる。
- ・ 身近な事例について考えた後、札幌市全体に視野を広げる。
- ・ 過度なクルマの利用を控え、公共交通を利用することが、将来にわたって公共交通を維持することにつながることに気付くよう、効果的な資料を活用する。
- ・ 家族にも交通行動について考えることを促すような提案を子どもが考え、家族に伝える。

#### ③資料の活用

「札幌らしい交通環境学習フォーラム」で使用したテキストと、児童の実態を考慮し、ねらいに迫るための資料を教師が作成し、配付して使用する。

## 2.単元にかかわって

### ●単元の目標

- ・身近な公共交通機関であるバスの歴史や現状について、興味をもち、自己課題を設定することができる。
- ・聞き取り調査などの活動を通して、自己課題の解決に必要な情報を収集することができる。
- ・バスの良さ、公共交通の良さや今後のあり方について考えを深めることができる。
- ・バスの良さや今後のあり方について、家族への提案にまとめ、発信することができる。

### ●単元の構成

|                  |  |                    |  |              |              |
|------------------|--|--------------------|--|--------------|--------------|
| 札幌市の公共交通の歴史【3時間】 | 子どもの主な活動   | 公共交通のはたらきと問題点【2時間】 | 子どもの主な活動   |              |              |
|                  | <p>「お出かけ」について、考えよう</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p>仕事、買い物、遊び…</p> <p>自宅 → 行き先</p> <p>&lt;手段&gt;</p> <p>自動車 徒歩 バス</p> <p>地下鉄 JR 自転車</p> <p>いろいろな移動の仕方があるね。</p> <p>札幌の公共交通は、いつ頃、どのように始まったの？</p> <p>過去 → 現在</p> <table border="1"> <tr> <td>1909<br/>馬車鉄道</td> <td>1918<br/>路面電車</td> <td>1930<br/>市営バス</td> <td>1971<br/>地下鉄</td> </tr> </table> <p>移動手段が増えて、便利な暮らしになってきたんだね。</p> |                    | 1909<br>馬車鉄道   | 1918<br>路面電車 | 1930<br>市営バス |
| 1909<br>馬車鉄道     | 1918<br>路面電車   | 1930<br>市営バス       | 1971<br>地下鉄  |              |              |
| 家族の交通行動調べ【2時間】   | <p>お家の人、何のために、どのように「お出かけ」しているのかな。</p> <p>4の2 「お出かけ」調べ</p> <p>お家の人に聞こう！</p> <p>①だれが ②何のために ③どこへ ④どのように ⑤どのくらいの時間で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車を使って移動することが多いね。</li> <li>・いろいろな移動手段を使っているよ。</li> <li>・公共交通が意外と使われていないぞ。</li> </ul> <p>目的や行き先によって、さまざまな移動手段が利用されているんだね。</p>  | 家族への提案【3時間】        | <p>お家の人に「提案」しよう！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「お出かけ」調べの結果を生かして</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共交通の「今」を伝えて</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">具体的な行動について考えて</div> </div> <p>未来の公共交通を守るのは、私たち。今日から行動を始めよう！</p> |              |              |

### 3. 本時の目標と学習展開

#### ●目標

- ・バスの乗車人数がどんどん減り、赤字路線が多くなる中でも、札幌市が補助金を出して、赤字路線を残そうとしていることの意味を考えることから、未来の自分たちにとっての公共交通のあり方について考えることができる。

#### ●展開

| 学習展開   | 教師のかかわり   |
|--|---|
| <p>(前時まで) 家族の交通行動について調べ、家族の移動手段が、目的や行き先によって違っていること、バス路線があることが、自家用車を持たない者にとっても、持つ者にとっても大切であることを理解している。</p>  | <p>○バス路線「白24」が必要性を振り返った後、昨年度 580 万円の補助金を出している事実を提示し、その意味を問う。</p>  |
| <p>バス路線「白24」 「白24」には、去年、580万円の補助金を出している！<br/>バスが走れば走るほど、損をする！</p>  <p>札幌市全体のバス乗車人数とバス走行キロ数</p> <p>札幌市全体でも、似たようなところがたくさんあるね。<br/>去年は、補助金6億4000万円！</p> <p style="background-color: red; color: white; text-align: center;">どうして、6億4000万円も損をしているのに、バス路線を残しているのだろう。</p> | <p>○札幌市全体のデータを示すことで、身近なことが札幌市全体の問題であることに気付かせ、問題意識を高める。</p> <p>○子どもの考えを「だれでも」「いつでも」「どこへでも」という視点に分けて引き出す。</p> <p>○既習の「交通日記」とつなげ、身近な問題として考えられるようにする。</p> |
| <p><b>だれでも</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車を持たない人でも</li> <li>・運転できなくなった人も</li> <li>・体が不自由な人も</li> </ul> <p><b>いつでも</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・便数がたくさん</li> <li>・乗り遅れても次の便に</li> <li>・</li> </ul> <p style="background-color: yellow; text-align: center; font-weight: bold;">札幌市民の大切な「足」だからこそ</p>           | <p>○子どもの考えを「だれでも」「いつでも」「どこへでも」という視点に分けて引き出す。</p> <p>○既習の「交通日記」とつなげ、身近な問題として考えられるようにする。</p>  |
| <p><b>どこへでも</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事にも</li> <li>・学校にも</li> <li>・札幌市のほとんどのところへ行ける</li> </ul>  <p>札幌市全体のバス乗車人数と自動車保有台数</p>  | <p>○子どもの見方や考え方を確かにするために、必要な資料を提示したり、切り返しの発問をしたりする。</p>  |
| <p>このままだと、路線が減っていってしまう！<br/>どうしたらよいのかな。</p> <p style="text-align: center;">車とバスを使い分ける！<br/>お家の人に知らせる！ 自分でも</p> <p>お出かけ調べでは…<br/>バスの利用者が少ない！</p>  | <p>○バス乗車人数と自動車保有台数とお出かけ調べの結果を関連づけ、未来の公共交通のために、自分自身がどうしたらよいか考えるようにする。</p>  |
| <p>札幌市は、市民みんなが、いつでも、どこへでも行けるように、バス路線を残しているんだね。未来に残せるかどうかは、自分たちの行動次第だね。</p>   |   |

板書計画

11/20

バス路線「白24」

580万円の赤字!!

札幌市全体

どうして6億4千万円の赤字なのに、バス路線を残しているの?

たれでも どのでも いつでも

車のない人もあるよし 仕事に 本数がたくさん

子ども(お年寄り)も 学校に バスもあるよ

もしのねなくもたい

家族に知らせる 自分でも...

バスは、札幌市民の大切な足だから、残している

未来を決めるのは、私たち!!

バス路線を残す!

## 4.本時で活用する資料

### ●本時で活用する資料

バス乗車人数とバス走行キロ数、  
自動車保有台数のグラフ

バス路線廃止に  
かかわる写真